

～自分やふるさに誇りをもち、夢や希望にむかう子ども～

- 自ら学ぶ子ども
- こころ豊かな子ども
- たくましい子ども

玉っ子

NO18 R4.12.23

文責 校長 佐藤則之

2学期末を迎えました



本日、第2学期の終業式を迎えました。コロナ禍ではありますが、子どもたちの健康管理が行き届いていること、感染状況が落ち着いていることから、時間を限定し換気を十分にした状態で体育館で行いました。学校によっては感染状況が落ち着かないために、分散で行ったり、リモートで行ったりする学校もある中、全校児童が集うことができることに感謝の気持ちで一杯です。

終業式の中で、子どもたちに次のような話をしました。

その年の世の中の様子を、漢字1文字で表現する「今年の漢字」が、12月12日、京都・清水寺で発表されました。2022年を表す漢字は「戦」でした。

「戦」の字が選ばれた理由について、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など戦争を意識した年であったことや、物の値段が高くなるなど、生活の中での「戦い」を応募者の多くが体感したことをあげています。また、サッカーワールドカップの日本代表が、優勝経験もあり強いと言われているドイツやスペインを破ったのはついこの前のことですが、冬の北京オリンピックで日本人選手が活躍するなど、スポーツでの熱い「戦」が繰り広げられたことも理由としてあげています。野球界では、村上選手の日本人最多本塁打や、佐々木朗希投手の最年少完全試合、大谷翔平選手の2桁勝利2桁ホームランなど、記録への挑「戦」も注目を浴びました。夏の高校野球では福島県代表の聖光学園がベスト4まで勝ち「進」んだことも注目されました。

さて、玉井小学校にも今年の漢字がありました。それは、皆さんの教室に掲げられている「進」という字です。その年の初めに、皆さんと皆さんのおうちの人から募集し、その中から選ばれた漢字が「進」という一文字でした。

「コロナ禍ではあるけれど、今年一年、みんなで、一步一步、確実に前に進んでいこう」という、思いのこもった一字です。

今年一年を通して、「進」の一文字に当てはまる、一步一步でも、少しでも、前に進むことができたことはありますか？

- できなかったことが、できるようになる
- 分からなかったことが、分かるようになる。
- 我慢できなかったことが、我慢できるようになる。
- 許せなかったことが、許せるようになる。
- 一人では出来なかったことが、一人で出来るようになる。
- 食べられなかったものが、食べられるようになる。
- 守れなかったことが、守れるようになる。
- 読めなかった字が、読めるようになる。
- 見えなかったものが、見えるようになる。
- 聞こえなかったものが、聞こえるようになる。
- 気づけなかったことに、気づけるようになる。

進

- 友達の心の痛みが、分かるようになる。
- 自分から、あいさつが出来るようになる。

どんなことでもいいのです。今までの自分が、一つでも前に進めたことがあれば、自分で自分を褒めていいのです。



来年も、1月に「今年の漢字」を募集します。冬休みの間に、おうちの人と今のうちから相談しておくといでしょう。

明日から、冬休みです。

家の人に言われたから・・・学校の宿題だから・・・ではなく「自分で決めて、自分から取り組んでみる」ような冬休みを、過ごしてほしいと思います。きっと、満足感や達成感を味わうことができるよい冬休みになるはずです。1月10日(火) の第3学期始業式では、元気に登校した皆さんに会えることを楽しみにしています。

学校支援ボランティア登録

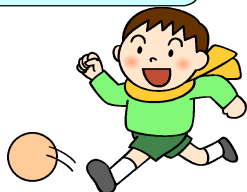
スマホで出来るようになりました



大玉村で行っている学校支援ボランティア制度は、県内でも先駆け的な制度であり、本校の教育活動を行う際に、大変なお力添えをいただいております。

今までは、所定の用紙に必要時期を記載して登録する方法でしたが、新たにQRコードを読み込む方法でも登録できることとなりましたので下記にご紹介します。

学校限定、学年限定での登録も可能



ホームページ用のデータには QR コードは掲載しておりません。
お問い合わせは、大玉村教育委員会生涯学習課までお願いします。

事務局によれば、ボランティアの依頼は、メールまたはLINE等で行うそうです。



次年度も、学校支援ボランティアの方々にお世話になりながら、子どもたちの活動が安全で充実したものとなるよう教育活動を進めて参ります。多くの保護者の皆様のご登録頂き、大きな行事だけではなく、子どもたちの学習に関わっていただくことを期待しご紹介しました。